

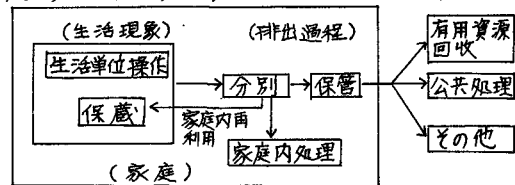
家庭生活における物質の流れと調製に関する研究 (1) 家庭の廃棄物排出に関する検討

昭和女大家政 ○岡村 浩 杉田浩一 東京文化短大 澤野 勉

目的 市町村における廃棄物処理行政は、廃棄物の再利用を前提として分別収集を行う方針がとられている。これは各家庭であらかじめどのようなごみが排出されるかの確認、有害物の除去、資源の回収、可燃物と不燃物の分別など、適正な前処理が行われることを前提としている。この分野の研究は消費者運動など市民の自発的な活動が多少みられる程度で、あまり手をつけられていない。本報告では生活の場としての家庭より排出されるごみと、それに対する家庭内での前処理的取扱いの状況について、調査と解析を行った。

方法 生活過程において排出される廃棄物のフローを調査、モデルフローシートを作成し、その問題点を考察した。このモデルフローを基に約50家庭における廃棄物処理の現状をアンケート調査により検討した。

結果 家庭排出物の前処理を適正に行うには分別と見分け方、たとえば(i)不用物であるか、(ii)どのような事前の処理が必要か、(iii)どのように保管するか、などの判断を行わねばならない。このアンケート調査では分別排出の見分け方は実行可能であり、現在でもある程度行われている。しかし分別されたものを家庭外に排出する時点までに保管場所の確保が困難であるとの回答が多い。したがって、これに対処するためには排出物の減容化が必要であると考えられた。



家庭の廃棄物排出経路